

山梨県文学館協議会資料

平成22年3月11日(木)
山梨県立文学館

目次	頁
山梨県文学館協議会委員名簿	1
山梨県立文学館組織図(平成22年3月1日現在)	2
SPSやまなし組織体制図 2009年6月~	3
山梨県立文学館活動報告(概要)	4
平成21年度 観覧者及び施設利用者集計表	5
施設利用状況(平成17年度~平成21年度)	6
教育普及事業実施状況及び閲覧室利用状況 (平成17年度~平成21年度)	7
平成21年度企画展等一覧	8
平成21年度の事業執行について	9~11
平成22年度各種事業一覧	11~13
平成22年度企画展等一覧	14

山梨県文学館協議会委員名簿

任期平成21年9月29日～平成23年9月28日

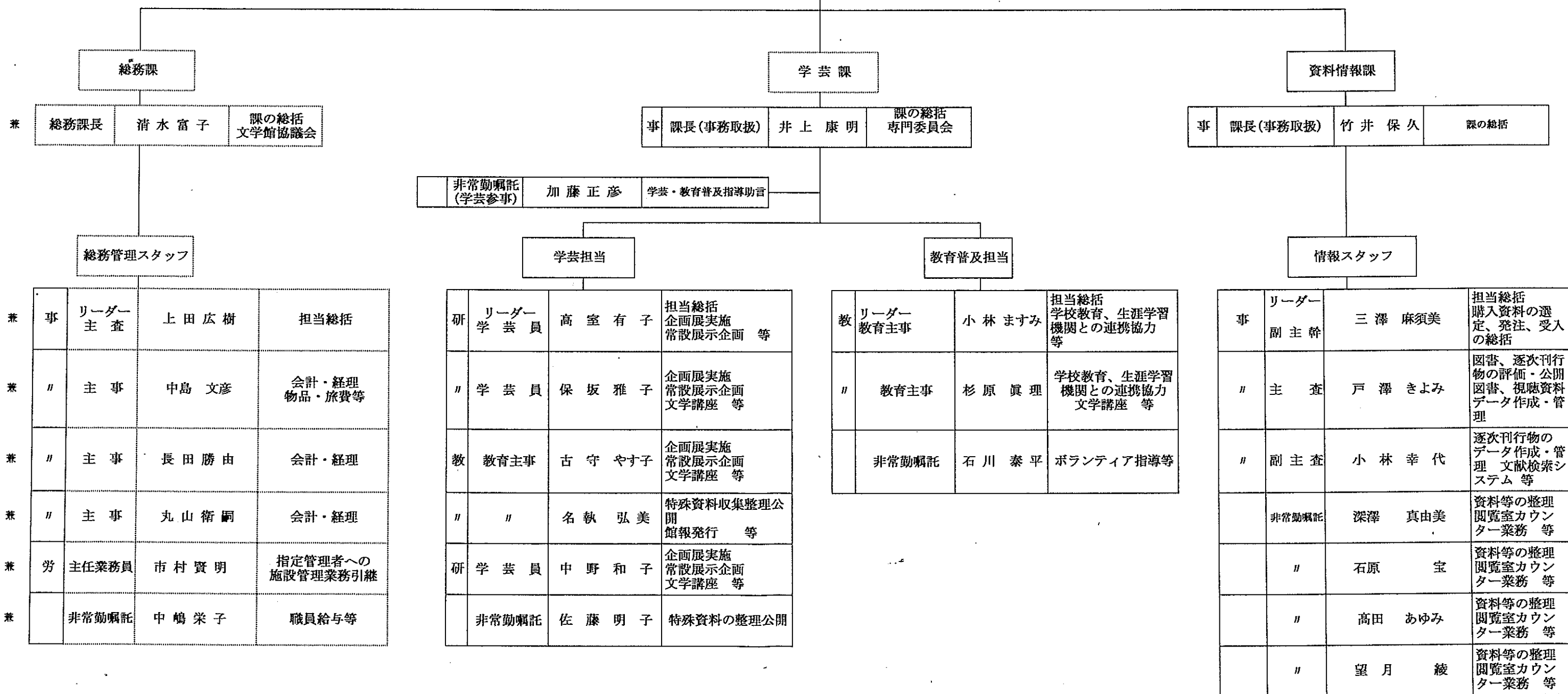
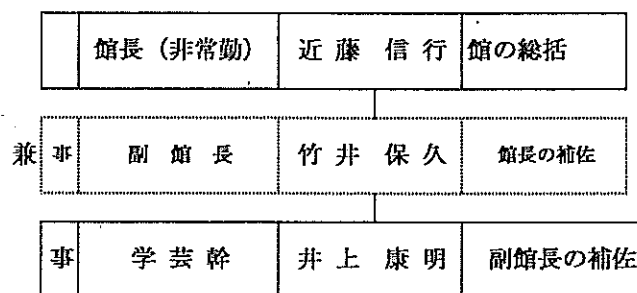
(平成22年3月1日現在)

区分	役職	氏名	出身分野(勤務先等)	備考
委嘱	県市町村教育委員会連合会代表	増坪 愛子	社会教育関係(甲斐市教育委員会委員長職務代理者)	H22.2.9 交替
〃	県社会教育委員代表	赤池 あずま	〃 (山梨県社会教育委員)	
〃	山梨文芸協会事務局長	宮崎 吉宏	学識経験者	
〃	報道関係	向山 文人	〃 (山梨日日新聞社 論説委員長)	
〃	〃	古屋 未知男	〃 (テレビ山梨 放送本部 報道制作局長)	
〃	〃	宮司 幸雄	〃 (NHK甲府放送局副局長)	
〃	山梨大学教授	橋本 朝生	〃	
〃	山梨英和大学教授	石田 千尋	〃	
〃	元県教育長	教野 強	〃 (山梨ことぶき勸学院学院長)	
〃	公募委員	小野 正	〃 (顧問事務所経営、元風林火山博統轄店長)	
〃	公募委員	水垣 彩	〃 (サンニチ印刷コンサルティング事業室)	
〃	前中央市立玉穂生涯学習館館長	乙黒 幸江	家庭教育関係	
任命	県公立小中学校長会代表	益田 洋美	学校教育関係(甲州市立井尻小学校長)	
〃	県高等学校長協会代表	辻 泰	〃 (県立富士見支援学校長)	

文学館 組織図(H22. 3. 1現在)

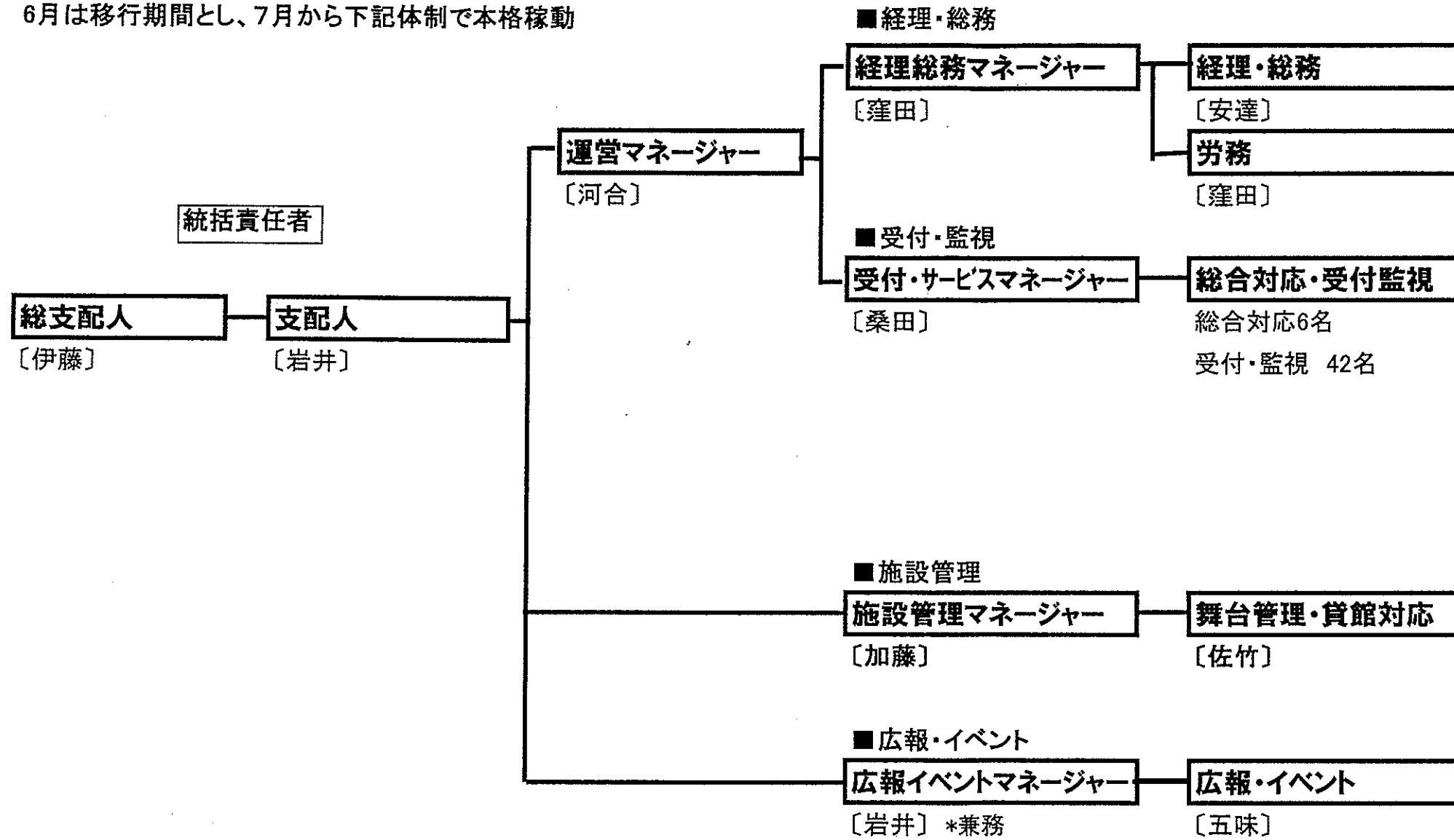
所属	山梨県立文学館		
正規職員	非常勤嘱託	臨時職員	計
18 (兼7)	9 (兼1)	0	27 (兼8)

()は内数



SPSやまなし組織体制図 2009年6月～

6月は移行期間とし、7月から下記体制で本格稼働



本館に求められるもの

県民の価値感の多様化・余暇活動の関心の高まりとともに、心の豊かさや生きがいを求めて、文化活動に対するニーズも一段と幅広いものとなってきている。

このようななか、文学に対する知識・教養の向上をはかり、県民文化の発展向上に寄与することを目的として設置されている山梨県立文学館には、

【展示／見る】文学史に残る作家と作品を紹介する企画展と山梨県出身ゆかりの文学者を展示する常設展示の一層の充実をはかる。

【教育普及／学ぶ】生涯学習、教育課程における学習など、多様な学習機会の提供、本県文学、創作活動の充実、発展、その場の提供。

【付加価値・魅力／たのしむ】本来の文学館機能に加え、付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供。

◎ 平成21年度は、文学館開館20周年を迎え、記念イベントを実施し、情報発信を強力に行ってきた。

平成21年度の活動

【展示／見る】〈魅力ある展示へ〉

開館20周年を契機に魅力向上をはかる展示を展開

〈常設展〉

- 第1室 富士山と文学 古典（年間の前半）秋山秋紅寥の世界（年間の後半）
- 第2室 山梨出身ゆかりの20作家のコーナー他 前半 詩人15名 後半 歌人15名
- 第3室 芥川龍之介 資料集草稿6～8週ごとに入れ替え
- 第4室 飯田蛇笏 季節毎の展示替え

◎常設展示室リニューアルオープン（平成22年2月2日）

○飯田蛇笏・飯田龍太記念室を新設○第1室に樋口一葉コーナー新設○本県ゆかり出身作家の顕彰充実○展示・ソフト機能の拡充○収蔵名品展の開催○記念講演会開催 講師：津島佑子

〈企画展〉

開館20周年記念・春「太宰治展 生誕100年」7,544人・秋「樋口一葉と甲州」展 6,449人

〈特設展〉

- 開館20周年記念特設展 H・Cアンデルセン「人魚のお姫さま 青い瞳の涙」3,027人
- ◎ ミュージアム甲斐 in（会員）募集事業 ◎ SPSやまなしとともにJR・県観光機構との連携等による積極的な広報

【教育普及／学ぶ】〈文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供〉

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

◎ リニューアルオープンした常設展示室内の飯田蛇笏・飯田龍太記念室にちなみ、創作俳句教室を大人・子ども向けに各実施

◎ 文化の森種まきプロジェクトの事業開催 朗読会「加藤武口演&トーク」 日仏映画祭

〈活動内容〉

春秋の企画展関連講演会・朗読会・座談会・講座・教師のための学習会 文学散歩2回 特設展関連子ども映画会・朗読会・ワークショップ 年間文学講座 文学のつどい講演会 名作映画鑑賞会 大人・子ども俳句教室 読書会 親子ほのぼの朗読会 チャレンジ文学館 夏休みチャレンジ文学館 ジュニアインターンシップ 文学解説、各種講師派遣事業 館長トーク

【閲覧室事業】〈資料の保存と公開〉

・資料を手に取り文学者を身近に感じることができる機会の提供 ○閲覧室資料紹介・土橋治重一人と作品一・赤毛のアンと村岡花子・家族が語る作家の素顔・山梨県立文学館20年のあゆみ

○命日にちなんだ資料紹介・ナビ忌・桜桃忌・河童忌・方代忌・一葉忌・周五郎忌

○書庫見学6/27：69人 11/20：51人

【創作／作る】〈創作の場を提供〉

〈やまなし文学賞〉小説・研究評論2部門で実施予定 11月末締め切り H22年3月初発表

【付加価値魅力／楽しむ】〈魅力ある文学館〉

協力会会員による企画展・常設展の解説ボランティアを実施・育成

SPSやまなしによるアートツアーへの協力

平成22年度の活動

【展示／見る】〈魅力ある展示へ〉

開館20周年リニューアルオープンを契機に魅力ある展示を展開

〈常設展〉

- 第1室 山梨の文学風土（甲斐のうた） 樋口一葉（朗読コーナー）
- 第2室 山梨出身ゆかりの文学者たち 井伏鱒二・太宰治・檀一雄・山本周五郎・深沢七郎・山崎方代 21作家のコーナー
- 第3室 芥川龍之介 生涯（誕生・少年時代・作家として・晩年）書画・俳句・山梨との関わり 朗読コーナー
- 第4室 飯田蛇笏・飯田龍太記念室 人生をたどって 季節毎の展示替え
- 第5室 前期（9月まで）小説・評論・随筆・翻訳・ジャーナリズム・戯曲・脚本・童話・童謡 収蔵品展 年度収蔵品資料を中心に展示紹介（年度末）

〈企画展〉

開館20周年記念・春「山崎方代展 右左口はわが帰る村」・秋「井伏鱒二と飯田龍太」展

〈夏休み展示〉

県立美術館・文学館共同特別展「くじらぐもからチックタックまで」

◎ ミュージアム甲斐 in（会員）募集事業 ◎ SPSやまなしとともにJR・県観光機構との連携等による積極的な広報

【教育普及／学ぶ】〈文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供〉

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。美術館周辺校との連携（新田小児童による樋口一葉コーナーでの文学解説）

◎ 常設展示室内の飯田蛇笏・飯田龍太記念室、春の山崎方代展にちなみ、創作教室実施

〈活動内容〉

春秋の企画展関連講演会・朗読会・座談会・講座・教師のための学習会 文学散歩2回 特設展関連子ども映画会・朗読会・ワークショップ 年間文学講座 文学のつどい講演会 名作映画鑑賞会 大人・子ども俳句教室 読書会 親子ほのぼの朗読会 チャレンジ文学館 夏休みチャレンジ文学館 ジュニアインターンシップ 文学解説、各種講師派遣事業 館長トーク

【閲覧室事業】〈資料の保存と公開〉

・資料を手に取り文学者を身近に感じることができる機会の提供 ○閲覧室資料紹介・「明星」創刊110周年・親子で読む名作・井伏鱒二の世界・新田次郎一歿後30年一 ○命日にちなんだ資料紹介・ナビ忌・桜桃忌・河童忌・方代忌・蛇笏忌・一葉忌・周五郎忌 ○書庫見学

【創作／作る】〈創作の場を提供〉

〈やまなし文学賞〉小説・研究評論2部門で実施予定 11月末締め切り H22年2月末発表

【付加価値魅力／楽しむ】〈魅力ある文学館〉

協力会会員による常設展示室の解説ボランティアの育成 SPSやまなしによるアートツアーへの協力

平成21年度 観覧者集計及び施設利用集計 (H21.4.1 ~ H22.2.28)

観覧者集計 (年度計)							施設利用集計 (月計)															
区分	常設展	うち特設展 H.07 ソフィア「人魚のお 姫さま」-青い瞳 の涙-	企画展		収蔵品展	計		講堂		研修室		研究室		茶室		野外研修施設		計		閲覧室 入室者数	施設利用 者総計	
			生誕100年 太宰治展	樋口一葉と 甲州				件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数			
開館日数	275	31	52	59	-		4月	13	2,348	22	985	10	55	5	232	3	21	53	3,641	459	4,100	
個人	一般	2,716	495	2,525	1,019	-	6,260	5月	12	3,605	22	1,072	7	46	4	320	5	54	50	5,097	680	5,777
	大・高生	273	41	207	48	-	528	6月	11	3,657	25	997	5	36	4	181	3	24	48	4,895	698	5,593
	中・小生	301	36	255	25	-	581	7月	19	4,791	29	1,394	5	20	3	107	2	111	58	6,423	765	7,188
	計	3,290	572	2,987	1,092	-	7,369	8月	7	2,546	19	1,276	10	98	5	211	5	75	46	4,206	955	5,161
団体	一般	12	2	149	101	-	262	9月	15	3,951	20	639	11	50	5	187	4	263	55	5,090	811	5,901
	大・高生	109	0	0	0	-	109	10月	22	4,478	39	1,971	17	64	10	1,014	12	921	100	8,448	748	9,196
	中・小生	0	0	0	228	-	228	11月	25	5,646	26	1,666	7	39	9	701	5	121	72	8,173	781	8,954
	計	121	2	149	329	-	599	12月	14	3,258	13	563	6	19	4	195	3	31	40	4,066	451	4,517
宿泊者 割引	一般	535	144	441	337	-	1,313	1月	8	1,737	11	367	3	26	6	354	0	0	28	2,484	363	2,847
	大・高生	17	5	4	3	-	24	2月	6	1,170	24	969	14	56	3	42	2	27	49	2,264	607	2,871
	中・小生	13	8	6	0	-	19	3月										0	0		0	0
	計	665	157	451	340	-	1,356	計	152	37,187	250	11,899	95	509	58	3,544	44	1,648	599	54,787	7,318	62,105
共通・美 券	一般	1,675	337	-	-	-	1,675															
	大・高生	312	34	-	-	-	312															
	中・小生	354	97	-	-	-	354															
	計	2,341	468	-	-	-	2,341															
4館共通 観覧券	一般	357																				
	大・高生	6	89	179	131	-	674															
	中・小生	1																				
	計	364	89	179	131	-	674															
期文学 観覧館 券定	一般	27																				
	大・高生	1	3	21	11	-	60															
	中・小生	0																				
	計	28	3	21	11	0	60															
クーポン	612	48	0	281	-	893																
教育課程	361	0	0	0	-	361																
無料観覧者	10,342	1,688	3,757	4,265		18,364																
合計	18,024	3,027	7,544	6,449	0	32,017																
一日平均観覧者	66	98	145	109	#DIV/0!																	

総計

32,017 人 + 62,105 人 = 94,122 人

※常設展観覧者総数18,024人には、収蔵名品展観覧者 (H21.12.2からH22.2.28まで) 3,007人を含む
(11/25から12/1リニューアル工事のため常設展示室を閉室し、代わりに企画展示室で開催)

観覧者数の状況 (H10年度~H21年度)

H22.2月末現在

年度	企画展	常設展	合計
H10	15,433	33,191	48,624
H11	9,832	20,652	30,484
H12	7,786	19,258	27,044
H13	10,259	17,901	28,160
H14	8,805	19,487	28,292
H15	8,535	18,641	27,176
H16	12,790	18,117	30,907
H17	7,232	15,008	22,240
H18	7,116	16,084	23,200
H19	9,795	20,730	30,525
H20	9,416	14,908	24,324
H21	13,993	18,024	32,017

無料観覧者	人数	企画展	常設展	合計		
高齢者	5,726	360	1,392	1,209	-	8,327
身障者	704	77	208	203	-	1,115
学生土曜日	464	20	140	52	-	656
教育課程 小・中生	360	14	227	161	-	748
夏休みフリーバ スポーツ	798	725	-	-	-	798
招待者	277	9	707	387	-	1,371
県民の日	553	-	-	790	-	1,343
業務視察者	1,460	483	1,083	1,463	-	4,006
計	10,342	1,688	3,757	4,265	2,313	20,677

施設利用状況（平成17年度～平成21年度）

※観覧者延数と施設利用者数の合計

	平成17年度			平成18年度			平成19年度			平成20年度			平成21年度		
	入館者数 (人)	開館 日数	平均入館 者数(人)	入館者数 (人)	開館 日数	平均入館 者数(人)	入館者数 (人)	開館 日数	平均入館 者数(人)	入館者数 (人)	開館 日数	平均入館 者数(人)	入館者数 (人)	開館 日数	平均入館者 数(人)
4月	6,050	26	232.7	4,936	27	182.8	6,692	27	247.9	6,566	27	243.2	5,292	27	196.0
5月	8,897	27	329.5	8,281	29	285.6	12,569	29	433.4	10,245	29	353.3	11,951	29	412.1
6月	7,885	26	303.3	9,499	26	365.3	10,166	26	391.0	7,329	25	293.2	11,149	25	446.0
7月	6,878	27	254.7	10,602	26	407.8	9,582	26	368.5	8,936	27	331.0	8,691	27	321.9
8月	6,890	26	265.0	8,853	28	316.2	10,887	28	388.8	9,001	27	333.4	7,495	26	288.3
9月	7,012	26	269.7	8,620	29	297.2	7,639	26	293.8	8,833	25	353.3	8,608	26	331.1
10月	9,330	26	358.8	11,789	29	406.5	15,530	29	535.5	11,581	29	399.3	13,190	29	454.8
11月	13,627	25	545.1	13,953	27	516.8	14,668	26	564.2	16,040	26	616.9	14,504	20	725.2
12月	4,702	22	213.7	5,912	22	268.7	5,253	22	238.8	4,016	22	182.5	5,177	22	235.3
1月	4,852	21	231.0	5,650	21	269.0	4,605	21	219.3	3,885	21	185.0	3,293	21	156.8
2月	10,481	24	436.7	7,580	24	315.8	11,147	25	445.9	6,419	23	279.1	4,772	23	207.5
3月	9,714	27	359.8	8,711	29	300.4	8,938	26	343.8	7,972	26	306.6			#DIV/0!
年間合計	96,318	303	316.7	104,386	317	327.7	117,676	311	372.6	100,823	307	323.1	94,122	275	343.2

H22.2月末日現在

過去5年間教育普及事業 実施状況

(平成22年2月末日現在)

		平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
企画展関連 講演会・講座	回数	15	5	6	8	9	14
	人数	2211	770	1192	828	1534	2197
	平均人数	148	154	199	104	171	157
年間文学講座Ⅰ・Ⅱ 古典文学・近代文学	回数	24	24	16	16	16	16
	人数	1265	805	1285	1311	1252	1332
	平均人数	53	34	81	82	79	84
年間文学講座Ⅲ (館職員による)	回数	7	7	8	6	6	6
	人数	361	468	481	302	312	375
	平均人数	52	67	61	51	52	63
文学のつどい	回数	1	1	1	1	1	1
	人数	192	152	178	63	50	60
	平均人数	192	152	178	63	50	60
朗読鑑賞会	回数	1	3	3	2	1	1
	人数	449	985	647	592	230	500
	平均人数	449	329	216	296	230	500
映画鑑賞会	回数	8	10	6	6	6	6
	人数	1565	1161	1405	1338	1390	1203
	平均人数	196	117	235	223	232	201
子ども映画鑑賞会	回数	2	2	2	2	2	1
	人数	136	216	377	303	349	174
	平均人数	68	108	189	152	175	174
子どもワークショップ (朗読教室・詩作教室・ 俳句教室)	回数		5	5	2	1	1
	人数		127	78	44	35	30
	平均人数		26	16	22	35	30
子どものための朗読等 親子ほのほの朗読会	回数	3	4	4	3	3	3
	人数	606	254	226	180	153	201
	平均人数	202	64	57	60	51	67
チャレンジ文学館 (夏休みチャレンジ文学館)	小中			228	538	584	716
	大人			79	168	189	125
	合計			307	706	773	841
文学散歩	回数	2	2	2	2	2	2
	人数	89	88	88	89	89	86
	平均人数	45	44	44	45	45	43
読書会	回数			10	10	10	10
	人数			114	120	113	103
	平均人数			12	12	12	11
小・中・高等学校・大学 文学解説・教室	回数	36	43	38	31	31	43
	人数	2235	3117	1279	1790	994	2198
小・中・高等学校 講師派遣事業	回数	9	8	8	7	3	7
	人数	669	579	447	720	190	757
一般団体 山梨の文学 講師派遣事業	回数	12	11	13	10	16	17
	人数	1370	475	777	902	597	765

閲覧室の利用

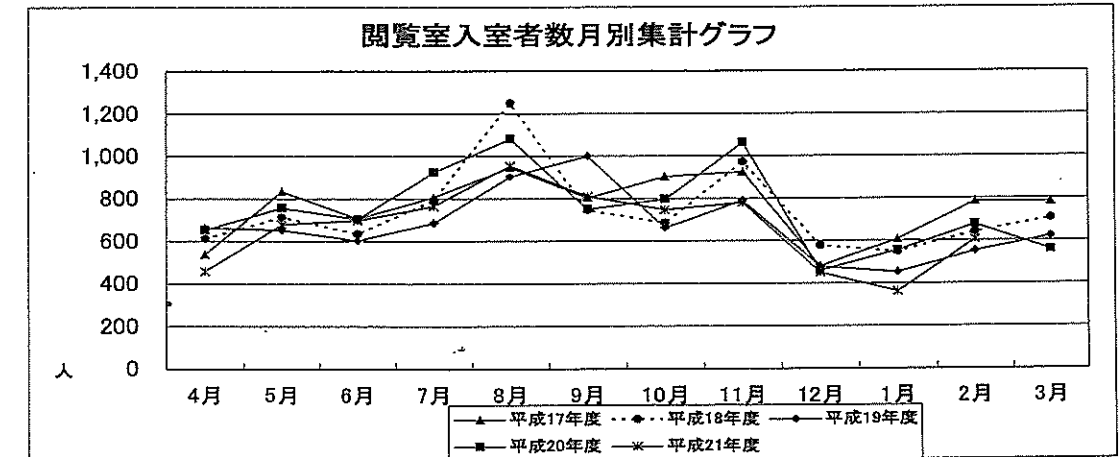
- (1) 所蔵資料の閲覧
- (2) 文献検索システム・OPAC 横断検索による書誌情報の検索
- (3) 調査相談(レファレンスサービス)、複写サービス
- (4) 閲覧室資料紹介、書庫見学

閲覧室利用状況(内訳)

	開館日数	入室者	閲覧カード発行数	閲覧者数	閲覧冊数	調査相談	電子式複写枚数	マイクロ複写枚数	画像検索回数	資料紹介冊数
平成17年度	303	9,120	83	366	2,607	551	4,756	33	776	450
平成18年度	311	8,869	121	320	2,264	608	5,945	52	947	284
平成19年度	311	8,086	124	418	3,792	420	8,403	2	1,036	312
平成20年度	307	8,981	111	375	1,877	616	7,912	113	703	418
平成21年度	281	7,318	105	385	1,917	450	4,468	105	595	400

閲覧室入室者(月別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均入室者数
平成17年度	538	835	707	806	946	803	903	925	481	608	785	783	9,120	30
平成18年度	612	713	634	791	1,249	745	684	971	576	548	641	705	8,869	29
平成19年度	663	653	603	685	904	1,001	662	791	479	453	552	622	8,086	26
平成20年度	653	758	703	924	1,082	750	797	1,064	460	555	677	558	8,981	29
平成21年度	459	680	698	765	955	811	748	781	451	363	607		7,318	26



ホームページアクセス件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均アクセス件数
平成17年度	2,057	2,483	2,259	2,320	2,499	2,657	2,370	2,545	2,630	2,079	2,356	2,237	28,492	94
平成18年度	2,315	2,564	2,512	2,620	3,020	2,745	3,080	2,700	2,152	2,576	3,037	3,131	32,452	104
平成19年度	2,459	2,799	3,105	2,623	2,638	2,363	3,127	2,549	2,239	2,197	2,688	2,218	31,005	100
平成20年度	2,444	2,689	2,343	2,744	2,620	2,271	2,692	2,542	1,871	2,159	2,670	2,390	29,435	96
平成21年度	2,783	4,094	3,967	2,724	2,677	2,806	3,015	2,019	2,337	2,759			32,130	96

*平成20年度までは 合計/開館日数=1日平均アクセス数。平成21年度から 合計/年間日数=1日平均アクセス件数。

複写枚数(マイクロも含む)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均枚数
平成17年度	437	956	504	490	398	405	371	255	243	83	121	526	4,789	16
平成18年度	288	475	530	475	272	759	142	382	513	366	1,078	717	5,997	19
平成19年度	1,729	1,343	943	308	390	773	709	681	614	228	365	322	8,405	27
平成20年度	282	2,418	269	785	752	444	503	787	747	322	419	297	8,025	26
平成21年度	444	283	640	523	613	248	902	330	289	76	225		4,573	16

調査相談(口頭・電話・手紙・FAX・メール)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均件数
平成17年度	20	42	59	63	54	44	36	45	36	43	52	57	551	2
平成18年度	49	74	49	40	50	52	44	54	39	38	53	66	608	2
平成19年度	34	31	29	28	51	28	40	33	31	29	35	51	420	1
平成20年度	67	61	54	62	36	48	61	60	37	41	36	53	616	2
平成21年度	47	41	45	47	43	42	49	45	24	25	42		450	2

平成21年度 企画展・特設展など

	展覧会名	会期	日数	観覧者数	内 容	備 考
1	開館20周年記念企画展 太宰治展 生誕100年	平成21年5月2日(土) ～6月28日(日)	52日間	7,544人	生誕百年を迎える太宰治(1909～1948)。太宰は、1938(昭和13)年秋、井伏鱒二の誘いにより山梨県御坂峠の天下茶屋を訪れ、新たに執筆活動を繰り広げます。翌年一月、甲府市の石原美知子と結婚し、八月まで甲府市御崎町(現朝日五丁目)の新居で過ごし、「富嶽百景」「女生徒」などの佳品を生み出しました。三鷹に転居した後も、たびたび山梨を訪れています。本展では、「斜陽」「人間失格」などの代表作を残した太宰の全体像を紹介しつつ、山梨に残した足跡に焦点をあてました。	
2	開館20周年記念特設展 H.C.アンデルセン 人形のお姫さま—青い瞳の涙—	平成21年7月18日(土) ～8月23日(日)	32日間	3,027人	デンマークの童話作家・詩人のハンス・クリスチャン・アンデルセンの童話「人魚のお姫さま」(「人魚姫」)の世界を、あらすじをたどりつつ、石倉欣二の挿絵パネル、交響詩「人魚姫」のBGMなどとともに、多角的に紹介しました。アンデルセンを翻訳、日本に紹介した矢崎源九郎(山梨県南アルプス市出身 北欧文学者・言語学者)の業績もあわせて展示しました。夏休み期間中の子供向け展示と位置づけ、ワークショップコーナーでは、子どもたちが自由に物語の絵を描き、登場人物へ手紙を書く一角を設けて、作品を掲示しました。	
3	開館20周年記念企画展 樋口一葉と甲州	平成21年9月19日(土) ～11月23日(月)	59日間	6,449人	樋口一葉(1872～1896)は24年と8ヶ月の短い生涯の中で、「たけくらべ」「にごりえ」をはじめとする名作を残しました。一葉の両親は、中萩原村(現 山梨県甲州市塩山)の農家に生まれ、幕末の江戸に出て幕府直参の武士となって、立身の夢を実現していきました。本展では、一葉と甲州との関わりを、両親・祖父をはじめ、一葉をめぐる甲州の人々との絆、また、「ゆく雲」をはじめとする甲州を舞台にした作品に焦点をあてて紹介します。	
4	収蔵名品展	平成21年12月2日(水)～ 平成22年2月28日(日)	66日間		樋口一葉・芥川龍之介・飯田蛇笏・太宰治など常設展で紹介している山梨出身・ゆかりの作家をはじめ、開館以来収集してきた日本文学を代表する選りすぐりの資料・名品を一挙に公開します。	11月25日～1月31日は、常設展示室がリニューアル工事のため閉室。
			①+③	13,993人	「H.C.アンデルセン 人形のお姫さま—青い瞳の涙—」については、常設展観覧者数としてカウント	

【平成21年度事業執行について】

1 企画展

(1) 春の企画展・関連事業

ア 企画展示

「太宰治 生誕100年」

会期 平成21年5月2日(土)～6月28日(日) 52日間

観覧者数 7544人 (1日平均 145人)

イ 企画展関連事業

月日	事業名	演題	講師	参加者数
5/10 (日)	講演会	「美知子夫人『回想の太宰治』から見えてくるもの」	安藤宏 (東京大学准教授)	180人
5/23 (土)	朗読会	NHK朗読シアター 「太宰治が愛した甲州」	児玉清(俳優) NHKアナウンサー	470人
5/31 (日)	講演と対談	「太宰治の「私」」 「太宰治について」	東郷克美 (近代文学研究者) 重松清(作家)	310人
6/13 (土)		「太宰治と井伏鱒二の手紙 展示資料より」	中野和子 (当館学芸員)	101人
6/18 (木)		「教師のための学習会」	保坂雅子 (当館学芸員)	26人

(2) 秋の企画展・関連事業

ア 開館20周年記念 企画展示

「樋口一葉と甲州」

会期 平成21年9月19日(土)～11月23日(月) 59日間

観覧者数 6449人 (1日平均 109人)

イ 企画展関連事業

月日	事業名	演題	講師	参加者数
10/3 (土)	文学講座	「樋口一葉と、祖父八左衛門・父則義の世界の接点」	野口碩 (一葉研究者)	150人
10/17 (土)	講演と対談	「樋口一葉の志」	山田有策 (東京学芸大学名教授) 菅聡子 お茶の水女子大学教授	130人
11/3 (月)	講演会	「『雨の萩』から～一葉の妹 邦子～」	青木玉 (随筆家)	280人

11/8 (木)	文学講座 「一葉の甲州への手紙」	古守やす子 (当館教育主事)	73人
11/22 (日)	文学講座 「一葉、晶子そして現代短歌」	三枝浩樹(歌人) 歌誌「沃野」主宰 山梨県歌人協会会長	112人
10/8 (木)	「教師のための学習会」	古守やす子 (当館教育主事)	16人
11/1 11/8	「樋口一葉ゆかりの地をめぐる文学散歩」	NPO協働事業	86人

2 常設展・特設展

(1) 常設展

第1室 「富士山と文学」

4/1～7/26

「秋山秋紅蓼の世界」

7/28～11/23

第2室 山梨出身・ゆかりの作家20コーナーのほか、一部を前後期に入れ替え展示

第3室 芥川龍之介コーナー

「芥川龍之介資料集」掲載資料を、6～8週間ごとに入れ替え展示

第4室 飯田蛇笏コーナー

それぞれの季節を中心とした資料に入れ替え展示

(2) 常設展示室リニューアル 2月2日(火) オープン

第1室 山梨の文学風土「樋口一葉」朗読コーナー新設

第2室 山梨出身・ゆかりの作家

南壁「井伏鱒二・太宰治・壇一雄」 北壁「山本周五郎・深沢七郎・山崎方代」

アイランドケース 15名(武田泰淳・八木義徳(新設))

第3室 「芥川龍之介」

第4室 「飯田蛇笏・龍太記念室」

第5室 山梨出身・ゆかりの作家 前期49名 後期55名

2/6	常設展示室リニューアルオープン記念 津島佑子講演会「土地・言葉・人間—文学の可能性」	津島佑子 (作家)	400人
-----	---	--------------	------

(3) 特設展

H.C.アンデルセン 「人魚のお姫さま」—青い瞳の涙—

ア 会期 平成21年7月18日(土)～8月23日(日) 32日間

観覧者数 3027人 (1日平均 95人)

イ 特設展関連事業

月日	事業名	講師	参加者数
7/26 (日)	特設展関連子ども映画会 カラーアニメ「マッチ売りの少女」「裸の王様」 「みにくいあひるの子」		174人

8/8 (土)	親子ほのぼの朗読会 「ねずみ経」「ミネさんと二個の干し柿」 「みにくいあひるの子」「外郎売り」 「甲府くうしゅうの話 かみず」	朗読・表現 さざなみの会	43人
8/22 (土)	朗読鑑賞会 矢崎滋の世界	矢崎滋	500人
会期中 毎日	絵・手紙をかこう (展示室内の壁に展示)		985人

3 教育普及事業（企画展・特設展関係を除く）

(1) 年間文学講座

期 間	事業名 演題	講師（職名）	参加者数
5/15 6/19 7/24 8/21 9/18 10/16 11/20 12/18	文学講座1 研修室 万葉集の歌を楽しむ（4） 金曜日 14:00～15:30	鈴木武晴（都留文科大学教授）	740人 （8回）
5/2 6/6 7/11 8/1 9/12 10/10 11/28 12/12	文学講座2 研修室 多面体としての川端文学 土曜日 14:00～15:30	小菅健一（山梨英和大学教授）	592人 （8回）
6/25 7/30 8/27 10/22 11/12 12/10	文学講座3 研修室 山梨の文学 木曜日 14:00～15:10	文学館職員	375人 （6回）

(2) 文学のつどい

期 日	演 題	講師（職名）	参加者数
6/20 (土)	「新聞小説の愉しみ」 「「唇」の事情を知れば和歌が面白くなる」	関 肇（京都光華女子大学教授） 松本章男（著述業・随筆家）	60人

(3) 名作映画鑑賞会

月 日	題 名	原 作 者	参加者数
4/19 (日)	「二十四の瞳」	原作 壺井栄 監督 木下恵介	205人
6/28 (日)	「路傍の石」	原作 山本有三 監督 家城巳代治	370人
7/26 (日)	特設展関連カラーアニメ 「マッチ売りの少女」「裸の王様」 「みにくいアヒルの子」	原作 アンデルセン	174人
9/6 (日)	「雨月物語」	原作 上田秋成 監督 溝口健二	170人
10/25 (日)	「にごりえ」	原作 樋口一葉 監督 今井正	280人
11/29 (日)	「用心棒」	原作 菊島隆三・黒澤明 監督 黒澤明	178人
3/14 (日)	子ども映画会カラーアニメ 「注文の多い料理店」「虔十公園林」	原作 宮澤賢治	

(4) 俳句創作プログラム

月 日	事 業 名	講 師	参加者数
8/7 (土)	子ども俳句創作プログラム	保坂敏子 （俳誌「白露」編集同人 山梨日日新聞俳句欄選者）	30人
2/4 2/18	大人の俳句教室（2回）	長田群青 （俳誌「白露」編集同人）	64人

(5) 読書会

月 日	著 者	作 品 名	参加者数
5/16 6/21 7/19 8/22 9/19 10/18 11/14 12/6 1/30 2/21	李 良枝 太宰治 芥川龍之介 辻邦生 保坂和志 福田甲子雄 樋口一葉 林真理子 山本周五郎 新田次郎	「由熙」 「新樹の言葉」「火の鳥」 「奉教人の死」 「嵯峨野明月記」 「生きる歓び」 「蛇笏・龍太の旅心」 「たけくらべ」 「女文士」 「青べか物語」 「八甲田山」「凍傷」	103人 （10回）

(6) 親子ほのぼの朗読会 (素心菴)

開催日	題 材 名	講 師	参加者数
5/30 (土)	「心に太陽を持って」「くもの糸」 「ややこしや、ややこしや〜」 「寿限無・じゅげむ〜」「走れメロス」	溝口朗読サークル	113人
8/8 (土)	「ねずみ経」「ミネさんと二個の干し柿」 「みにくいあひるの子」「外郎売り」 「甲府くうしゅうの話 かみず」	朗読・表現 さざなみの会	43人
10/24 (土)	「のはらむら“あき”」 「どんぐりころころ」「大きな栗の木の下で」 「月の夜」ゆびぬき手あそび	朗読の会すずらん	45人

(7) チャレンジ・夏休みチャレンジ文学館 (4月~2月28日)

幼児	24人	小学生	406人
中学生	276人	高校生	0人
大人	125人	合 計	831人

(8) ジュニアインターンシップ (職場体験学習)

7月28日~30日までの3日間	学芸員実習
高等学校生 1名	7月7日~12日までの6日間
11月19日	大学生3名
中学生 3名	

(9) 文学解説・各種講師派遣事業 (4月~2月28日)

ア 文学解説・教室			
小学校	のべ11校		
中学校	17校		
特別支援学校	1校		
高等学校	7校		
大学	6校	小中高大	2198人
一般	48団体	一般	683人
イ 文学解説・講師派遣			
小学校	3校		
中学校	1校		
高等学校	3校	小中高	757人
一般	17団体	一般	765人

4 やまなし文学賞

やまなし文学賞は、平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して制定されました。山梨県の文化振興をはかり、日本文化発展の一助として、小説と、研究・評論の2部門が設けてあります。

選考委員	小説部門:	三浦哲郎・阪上 弘・津島佑子
	研究・評論部門:	菅野昭正・高田 衛・十川信介
21年6月1日~11月30日		第18回やまなし文学賞募集
6月		第17回小説部門受賞作単行本刊行
22年2月16日		研究・評論部門選考会
2月26日		小説部門選考会
3月16日		表彰式

5 その他 (季節の行事に寄せて)

6/7 (日) 早苗寄席	20人
7/26 (日) 走れ紙芝居	90人
8/2 (日) 走れ紙芝居	50人

【平成22年度事業計画】

1 企画展・関連事業

(1) 企画展

春 「山崎方代展 右左口はわが帰る村」
会 期 平成22年5月1日(土)~6月27日(日) 50日間

秋 「井伏鱒二と飯田龍太展」
会 期 平成22年9月18日(土)~11月23日(火) 61日間

(2) 企画展関連事業

ア 春の企画展関連事業

開催日	題 材 名	講 師	参加者数
5/15	講演会「方代の歌の魅力」	馬場あき子 (歌人)	
5/29	文学講座「方代と故郷右左口」	中野和子 (当館学芸員)	
5/30	短歌教室「はじめての短歌教室」	河野小百合 (歌人)	
6/6	座談会「方代短歌を味わう」	来嶋靖生 (歌人) 三枝浩樹 (歌人) 大下一真 (歌人・「方代研究」編集室)	

この他、教師のための学習会などを計画

イ 秋の企画展関連事業

講演会・講座・教師のための学習会・文学散歩などを計画。

2 常 設 展

(1) 常設展

第1室	山梨の文学風土「樋口一葉」朗読コーナー新設
第2室	山梨出身・ゆかりの作家 南壁「井伏鱒二・太宰治・壇一雄」 北壁「山本周五郎・深沢七郎・山崎方代」 アイランドケース 15名 (武田泰淳・八木義徳(新設))
第3室	「芥川龍之介」
第4室	「飯田蛇笏・龍太記念室」
第5室	山梨出身・ゆかりの作家 前期49名 後期55名

(2) 特設展

「くじらぐもからチックタックまで—小学校国語教科書にのった思い出のお話原画展」
会期 7月18日(土)～8月23日(日) 33日間

(3) 収蔵品展(仮称)

会期 1月19日(水)～3月27日(日) 59日間

3 教育普及事業(企画展関連以外)

(1) 年間文学講座

期 間	事業名 演題	講師(職名)	参加者数
5/12 6/16 7/14 8/11 9/22 10/20 11/17 12/15	文学講座1 研修室 芭蕉を読む 水曜日 14:00～15:30	両角倉一 (山梨県立大学名誉教授)	
5/1 6/5 7/3 8/7 9/11 10/9 11/20 12/11	文学講座2 研修室 芥川文学における〈虚構〉と〈現実〉 土曜日 14:00～15:30	小菅健一 (山梨英和大学教授)	
回数未定	文学講座3 研修室 山梨の文学 木曜日 14:00～15:10	文学館職員	

(2) 文学のつどい

やまなし文学書研究・評論部門受賞者を講師に開催。

(3) 名作映画鑑賞会

年間7回開催予定(企画展関連映画会・子ども映画会を含む)

(4) 朗読鑑賞会

県内外の劇団の公演(企画展・特設展関連)

(5) 親子ほのぼの朗読会

親子で楽しめる作品の朗読。

(6) 文学散歩

秋の企画展に関連させて2回実施。

(7) 文学教室・解説

小・中・高校生向けには、国語科・総合的な学習の時間などの学習内容に合わせた解説。各種団体や一般向けには、時間設定や内容等の要望に応じて、文学教室や解説を行う。

(8) 講師派遣事業

小・中・高等学校や市町村、各種団体等の講師派遣要請に応える

(9) 教育普及資料集

山梨県出身およびゆかりの文学者についてのわかりやすい資料集の作成。

(10) 俳句創作プログラム

秋の企画展「井伏鱒二と飯田龍太展」関連事業として、俳句教室を行う。

4 やまなし文学賞

平成22年度は、第19回を募集する。

平成22年度 閲覧室資料紹介の計画について

1 目的 所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が直接手に取って利用できる資料を増やし、魅力ある閲覧室づくりを行う。
また、閲覧室の機能の理解と利用促進及び資料収集の推進を図ることを目的とする。

2 場所 閲覧室

3 対象 一般県民

4 内容

展示名及び概要	展示期間
<p>「明星」創刊110周年 「明星」は1900(明治33)年に与謝野鉄幹が主宰となって刊行された。短歌、詩、小説、翻訳、美術など幅広い分野にわたる雑誌で、与謝野晶子、高村光太郎、石川啄木、木下木太郎、北原白秋らを輩出した。創刊110周年にあたり、「明星」、ゆかりの作家たちの著作を紹介する。</p>	<p>平成22年4月13日(火) ～ 7月4日(日)</p>
<p>親子で読む名作 「お母さん童話」の創始者・徳永寿美子、『赤毛のアン』を翻訳した村岡花子、「月夜の詩人」吉川行雄など、山梨ゆかりの児童文学作家は少なくない。ほかに、藤井樹郎、太田黒克彦、小野政方らの著作から、親子で楽しめる名作を紹介する</p>	<p>平成22年7月6日(火) ～ 9月17日(金)</p>
<p>井伏鱒二の世界 作家・井伏鱒二は「山椒魚」「黒い雨」など数々の名作を世に送り出してきた。山梨は「第二の故郷」と語るほど親しみ、随筆や小説にその風土を描いている。企画展に併せ、井伏鱒二の著作や関連資料を紹介する。</p>	<p>平成22年9月18日(土) ～ 12月12日(日)</p>
<p>新田次郎—歿後30年— 1932(昭和7)年から1937(昭和12)年まで、冬の富士観測所で過ごした新田次郎は、その経験から『強力伝』を執筆、第34回直木賞を受賞した。新田次郎の山岳小説や、『武田信玄』(吉川英治文学賞)などの歴史小説、併せて家族の著作も紹介する。</p>	<p>平成22年12月14日(火) ～ 平成23年4月17日(日)</p>

平成22年度 文学者の命日にちなんだ資料紹介計画

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、資料を紹介する。ロビーにガラスケースを配置して関連資料を展示し、展示室・閲覧室への誘導をはかる。

展 示 名	展 示 期 間
李良枝 (5/22ナビ忌)	平成22年5月1日(土)～5月23日(日)
太宰治 (6/19桜桃忌)	平成22年6月4日(金)～6月27日(日)
芥川龍之介 (7/24河童忌)	平成22年7月14日(水)～7月25日(日)
山崎方代 (8/19方代忌)	平成22年8月6日(金)～8月22日(日)
飯田蛇笏 (10/3蛇笏忌)	平成22年9月17日(金)～10月12日(火)
樋口一葉 (11/23一葉忌)	平成22年11月12日(金)～11月28日(日)
山本周五郎 (2/14周五郎忌)	平成23年2月4日(金)～2月25日(金)

平成22年度 企画展・特設展など(予定)

	展覧会名	会期	日数	料金 単位:円	内 容	備 考
1	企画展 山崎方代展 右左口はわが帰る村	平成22年5月1日(土) ～6月27日(日)	50日間	一般 600(480) 大・高生 400(320) 中・小生 250(200)	東八代郡右左口村(現・甲府市)生まれの歌人、山崎方代(やまざき ほうだい 1914～1985)は、口語調の平易な文体に明るい哀調を帯びた独自の歌の世界を展開しました。その作品は、現代の歌壇にも大きな衝撃をあたえ続けています。展覧会では、味わい深い書、歌稿、書簡、写真、遺品など約150点の資料により、歿後25年を迎える山崎方代の生涯と短歌の魅力に迫ります。	自主企画
2	美術館・文学館共同特別展 くじらぐもからチックタックまで —小学校国語教科書にのった 思い出のお話原画展—	平成22年7月25日(土) ～8月29日(日)	33日間	一般 1000(840) 大・高生 500(420) 中・小生 260(210)	昭和40年から現在までの小学校国語の教科書に載った作品の中から、使用頻度の高い約20作品をえらび、その挿絵原画約150点を紹介します。県立美術館と文学館との共同特別展とし、美術館を第一会場(小学校低学年・中学年の作品)、文学館を第二会場(小学校高学年)として、親子で楽しめる展示を開催します。	実行委員会で開催 * これまで常設展の一環として行ってきた「特設展」を、美術館との共同特別展として位置づける。
3	企画展 井伏鱒二と飯田龍太(仮称)	平成22年9月18日(土) ～11月23日(火)	61日間	一般 600(480) 大・高生 400(320) 中・小生 250(200)	小説家井伏鱒二(1898～1993)と、山梨県東八代郡境川村(現 笛吹市境川町)出身の俳人飯田龍太(1920～2007)は、1952(昭和27)年、水原秋櫻子の紹介で出会って以来、井伏が亡くなるまでの約四十年にわたって親交を結びました。2008(平成20)年に文学館が開催した企画展「飯田龍太展」の調査で明らかになった400通に及ぶ往復書簡を中心に、ジャンルを超えて結ばれた二人の交友を紹介します。	自主企画
4	収蔵品展(仮称)	平成23年1月19日(水) ～平成23年3月27日 (日)	59日間	観覧料無料	平成22年度に新たに収蔵した資料を中心に、文学館収蔵資料の名品を公開します。	自主企画・観覧料無料